# 教　育　計　画

# 1　ガイダンス部

## （1）重点目標

### ◆総　務

ア　校務の円滑な運営のために、他分掌や事務部と緊密に連携する。
イ　ＰＴＡ、同窓会、後援会等関係機関との連携を深める。
ウ　広報活動の充実に努める。

### ◆教　務

ア　観点別評価の運用について、検証を行う。
イ　学校設定科目について、教科等横断的に実践していく方策を探る。

### ◆進　路

ア　学年に応じ進路指導を計画的に行い、進路目標の早期確立に向けた自主的・計画的な進路活動を支援する。
イ　外部機関との連携を図り、生徒の職業観と勤労観を養うとともに、コミュニケーション能力の向上に努める。
ウ　学習指導と進路指導の一体化を意識したアプローチを模索する。

## （2）具体的実践事項と内容

### ◆総　務

（ア）各分掌や各種委員会との連携による校内業務の円滑な推進。
（イ）職員室の整理整頓の推進、及び事務部との連携による職場環境の整備。
（ウ）儀式的行事の円滑な運営。
（エ）外郭団体との緊密な連携。
（オ）広報活動の推進。
（カ）学校図書の充実と読書環境の整備。
（キ）体験入学、体験発表会の充実。
（ク）内規の整備。

### ◆教　務

（ア）適切な観点別評価実施のための研究と情報収集。
（イ）サポート委員会と連携した生徒の生活状況や学習状況の分析と、それを活かした指導の充実を図る方策の模索。
（ウ）教育課程の不断の検証。
（エ）学校設定科目のサポートと実施後の検証。
（オ）教務規定の検証。

### ◆進　路

（ア）学年毎に具体的な目標を定め、ＨＲ担任と連携し指導を改善する。
（イ）卒業後の社会との関わりを意識させる講話等を積極的に活用し、ガイダンス機能を強化する。
（ウ）日常のルールやマナー遵守の姿勢の強化を図る。
（エ）校外模試を積極的に活用する。

## （3）業務分担

### ◆総　務

**ア　総　務**

| | | |
|---|---|---|
| （ア） | 公文書の作成・管理 | （○佐賀・藤田） |
| （イ） | 学校要覧・教育計画の作成・配布 | （○佐賀・他ガイダンス部） |
| （ウ） | 職員会議の運営 | （○佐賀・藤田） |
| （エ） | 年間行事計画の調整 | （○佐賀・藤田） |
| （オ） | 月間行事予定表の作成 | （○佐賀・藤田） |
| （カ） | 諸表簿の作成（ＨＲ出席簿・名票・教科出席簿・生徒納入袋） | （○佐賀・藤田） |
| （キ） | 儀式的行事 | （○佐賀・藤田・村田） |
| （ク） | 新入生関連行事（学校説明会・体験入学・予備登校） | （○佐賀・藤田・村田） |
| （ケ） | その他の行事（体験発表会・校歌指導） | （○佐賀・藤田・村田） |

**イ　庶　務**

| | | |
|---|---|---|
| （ア） | 物品管理・補充 | （○ガイダンス部） |
| （イ） | 職員連絡網の集約 | （○松下・藤田） |
| （ウ） | 職員室座席表および机配置図 | （○松下・藤田） |
| （エ） | 職員回覧箋 | （○松下・藤田） |
| （オ） | コートロッカー、靴箱の管理 | （○松下・藤田） |

**ウ　研　修**

| | | |
|---|---|---|
| （ア） | 教務内規 | （○佐賀・村田） |
| （イ） | 校内研修の企画・運営 | （○佐賀・村田） |
| （ウ） | 教育課程の研究・改善 | （○佐賀・村田） |

**エ　図　書**

| | | |
|---|---|---|
| （ア） | 図書室の管理・運営 | （○藤田・松下） |
| （イ） | 生徒・教師用の図書購入 | （○藤田・松下） |
| （ウ） | 図書費の予算案及び決算書の作成 | （○藤田・松下） |

**オ　視聴覚**

| | | |
|---|---|---|
| （ア） | 視聴覚機器の管理 | （○村田・松下） |

**カ　外郭団体担当**

| | | |
|---|---|---|
| （ア） | ＰＴＡ関連業務 | （○佐賀・松下） |
| （イ） | ＰＴＡだより「苫商だより」の編集・発行 | （○松下・村田） |
| （ウ） | ＰＴＡ関連懇親会（苫商の夕べ、体験発表会、卒業式） | （○松下・村田） |
| （エ） | 同窓会関連業務 | （○佐賀・村田） |

**キ　広報担当**

| | | |
|---|---|---|
| （ア） | 「苫商風だより」作成 | （○松下・村田） |
| （イ） | 学校ＰＲポスター・学校案内・案内作成 | （○松下・村田） |

## ◆教　務

**ア　教　務**

| | | |
|---|---|---|
| （ア） | 生徒指導要録の総括 | （○佐賀・村田） |
| （イ） | 入学者選抜業務 | （○佐賀・他ガイダンス部） |
| （ウ） | 諸証明書の発行 | （○佐賀・村田） |
| （エ） | 年間指導計画およびシラバスの作成・配布 | （○佐賀・村田） |
| （オ） | 時間割の管理 | （○松下・村田） |
| （カ） | 授業時数、特別活動時数の集計（Ｃ・Ｄ表） | （○松下・村田） |
| （キ） | 成績会議資料取りまとめ、保管 | （○佐賀・村田） |
| （ク） | 成績管理 | （○佐賀・村田） |
| （ケ） | 教科書、準教科書、指導書の集約 | （○佐賀・村田） |
| （コ） | 教科書販売に係る書類作成(業者用一覧・生徒個票)、連絡調整 | （○佐賀・村田） |
| （サ） | 諸納金個票および紙ファイル取りまとめ | （○佐賀・村田） |
| （シ） | 授業参観、公開授業週間の計画 | （○佐賀・村田） |
| （ス） | 学習等実態調査の実施、集約 | （○村田・佐賀） |
| （セ） | 生活、学習に関するアンケート | （○村田・佐賀） |
| （ソ） | T-baseとの連携(遠隔に係る準備、調整) | （○佐賀・村田） |
| （タ） | 校務支援システムの管理 | （○佐賀・村田） |

## ◆進　路

**ア　総　務**

| | | |
|---|---|---|
| （ア） | 各種報告(局・職安・民間) | （○虎野・藤田） |
| （イ） | 渉外全般 | （○虎野・藤田） |
| （ウ） | 進路情報の収集と追跡調査 | （○虎野・藤田） |
| （エ） | 「進路だより」発行 | （○虎野・藤田） |
| （オ） | 出願書類の指導(履歴書・入学願書) | （○虎野・藤田） |
| （カ） | 教科との指導の連携(小論文等) | （○村田・虎野） |
| （キ） | 進路資料作成 | （○虎野・藤田） |
| （ク） | 講話、説明会、ガイダンス等の企画、運営 | （○虎野・他ガイダンス部） |
| （ケ） | インターンシップ | （○虎野・松下） |
| （コ） | 進路希望調査の実施、まとめ | （○村田・虎野） |
| （サ） | 奨学資金(在学・進学)希望者の集約と指導 | （○村田・虎野） |

（シ） 各種書類の提出指導　（○虎野・藤田）
（ス） 掲示物の管理　（○松下･虎野）
（セ） 進路指導協議会に関わる業務　（○虎野）
（ソ） 訪問者の対応　（○虎野・他ガイダンス部）
※ガイダンス部不在時は
3学年、教頭で対応

**イ　就職関係**

（ア） 面接指導の企画、運営　（○虎野・他ガイダンス部）
（イ） 求人票の閲覧　（○虎野・松下）
（ウ） 就職資料の収集、整理　（○虎野・松下）
（エ） 就職出願業務　（○虎野・松下）
（オ） 就職対策講習の企画、運営　（○虎野・他ガイダンス部）
（カ） 公務員模試の企画、運営　（○佐賀・他ガイダンス部）
（キ） 自衛隊、道警等の説明会の運営　（○虎野・松下）

**ウ　進学関係**

（ア） 面接指導の企画、運営　（○虎野・他ガイダンス部）
（イ） 進学出願事務　（○虎野・藤田）
（ウ） 進学資料の収集、整理　（○虎野・藤田）
（エ） 大学・短大指定校推薦の集約、整理　（○虎野・藤田）
（オ） 模擬試験受験指導　（○佐賀・他ガイダンス部）

## （4）ガイダンス部年間行事計画

| 期 | 月 | 総　務 | 教　務 | 進　路 |
|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 4 | ・年度始め職員会議（含 教育計画）<br>・消耗品備品等希望調査と配分<br>・学校要覧・教育計画の編集<br>・「苫商風だより」発行<br>・学校ＰＲポスター・パンフレット作成<br>・着任式・始業式立案・実施<br>・入学式の立案・実施<br>・入学のしおり作成<br>・新入生オリエンテーションの企画・実施<br>・視聴覚備品の点検、整備<br>・校内研修会計画立案<br>・５・６月行事予定立案 | ・授業参観の企画・実施<br>・教務内規研修の企画・実施<br>・教務オリエンテーションの企画・実施<br>・標準時間割・科目名対照表作成<br>・遠隔配信授業時数見積の提示<br>・授業に係る指導事項の提示<br>・校歌指導の企画・立案 | ・「進路だより」発行<br>・第1回進路希望調査(全学年)<br>・インターンシップ希望調査(2学年)<br>・インターンシップ事業所との交渉開始<br>・保護者向け進路説明会(ＰＴＡ総会後)<br>・局報告「進路相談員派遣希望調査」<br>・模試の実施<br>・職業を知るガイダンスの立案<br>・模試実施要領 |
| | 5 | ・学校要覧・教育計画の完成<br>・学校ＰＲポスター・パンフレット作成<br>（桜前・授業写真の撮影）<br>・「苫商風だより」発行<br>・体験入学企画・立案<br>・図書集約・発注<br>・６・７月行事予定立案 | ・令和７年度教育課程の編成 | ・職安報告<br>「職業安定法27条に基づく業務分担」<br>・北海道高等学校奨学会(在学)募集開始<br>・職業を知るガイダンスの実施<br>・自衛隊説明会（放課後）<br>・日本学生支援機構奨学生募集開始<br>・模試の実施 |
| | 6 | ・学校祭模擬店ＰＴＡへの協力<br>・「苫商風だより」発行<br>・図書納品<br>・留萌管内学校説明会訪問<br>・1学期終業式立案、実施<br>・PTA会報「苫商だより」発行要領<br>・７・８月行事予定立案 | ・令和７年度使用教科書の採択<br>・学習・生活に関するアンケート実施要領<br>・学習・生活に関するアンケート①<br>・成績処理について（1学期） | ・自衛隊学校連絡会議(留萌)<br>・職安連絡会議<br>・学校運営指導訪問<br>・進路ガイダンスの実施<br>・インターンシップの実施<br>（ガイダンス、結団式含む） |
| | 7 | ・「苫商風だより」発行<br>・学校祭PTA模擬店<br>・苫商の夕べ<br>・管内学校説明会出席<br>・2学期始業式立案<br>・１学期末保護者宛文書一覧作成<br>・PTA会報「苫商だより」発行<br>・８・９月行事予定立案<br>・中間反省会議について | ・成績会議および１学期末補習<br>・教科書需要数の報告<br>・授業時数統計 | ・求人票公開開始<br>・進路講話の実施<br>・第2回進路希望調査(全学年)<br>・インターンシップ事後指導<br>・「進路だより」発行<br>・進路指導協議会(支部研究協議会) |

| 期 | 月 | 総　務 | 教　務 | 進　路 |
|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 8 | ・2学期始業式実施<br>・中学生対象体験入学<br>・中間反省会議とりまとめ<br>・体験発表会について提示<br>・９・１０月行事予定立案<br>・芸術鑑賞実施要領 | | ・企業訪問<br>・進路講話(局)実施<br>・就職応募書類作成開始<br>・就職模擬面接開始<br>・総合型選抜出願開始(大学等)<br>・小論文指導開始<br>・模試の実施 |
| | 9 | ・中間反省会議<br>・令和６年度年間行事予定表の提示<br>・「苫商風だより」発行<br>・体験発表会実施要領提示<br>・ＰＴＡ役員会の実施<br>・ＰＴＡ会報「苫商だより」発行<br>・図書集約・発注<br>・１０・１１月行事予定立案<br>・Ｒ７年間行事計画（仮１） | ・成績処理について（２学期中間）<br>・公開授業週間実施要領 | ・進路保護者説明会(見学旅行説明会後)<br>・職安報告「就職状況・名簿」<br>・局報告「早期求人状況」<br>・局報告「就職内定状況」<br>・公務員試験(一次)<br>・進路決起集会<br>・就職応募書類提出開始<br>・就職模擬面接<br>・就職試験開始<br>・進学出願書類作成開始<br>・就職礼状作成指導開始<br>・進路説明会実施要領（保護者宛文書含む） |
| | 10 | ・「苫商風だより」発行<br>・視聴覚備品の点検、整備<br>・１１・１２月行事予定立案<br>・芸術鑑賞実施 | ・公開授業立案 | ・職安報告「就職状況・名簿」<br>・局報告「就職内定状況」<br>・進路講話(局)(1、2学年)<br>・第３回進路希望調査(1、2学年)<br>・公務員試験(二次)<br>・就職促進会(１)<br>・進学模擬面接開始<br>・大学入学共通テスト出願受付<br>・模試の実施 |
| | 11 | ・「苫商風だより」発行<br>・図書納品<br>・体験発表会の実施<br>・2学期終業式立案<br>・１２・１月行事予定立案<br>・PTA会報「苫商だより」発行要領（後期） | ・入学者選抜業務計画の策定<br>・公開授業・校内研修の実施<br>・成績処理について（２学期） | ・職安報告「就職状況・名簿」<br>・局報告「併願受験者数」<br>・就職促進会(２)<br>・公務員試験(二次)<br>・推薦入試(大学)出願、入試開始<br>・進路指導協議会(支部研究協議会)<br>・模試の実施<br>・面接指導（1,2年）実施要領 |
| | 12 | ・「苫商風だより」発行<br>・卒業式実施要項(案)提示<br>・2学期終業式実施<br>・3学期始業式立案<br>・１・２月行事予定立案<br>・Ｒ７学校案内パンフレット作成実施要領<br>・Ｒ７年間行事計画（仮２） | ・令和６年度入学者選抜実施要項提示<br>・成績会議<br>・授業時数統計<br>・学習・生活に関するアンケート② | ・進路保護者説明会(体験発表会後)<br>・「進路だより」発行<br>・職安報告「就職状況・名簿」<br>・職安報告「就職未内定状況」<br>・局報告「就職(内定)状況」<br>・進路講話(スーツ着こなし)(3年)<br>・進路ガイダンス<br>・就職促進会(３) |
| 3学期 | 1 | ・年度末反省会議取りまとめ<br>・3学期始業式実施<br>・予備登校実施準備<br>・卒業式の立案<br>・２・３月行事予定立案<br>・卒業式案内文書（保護者）<br>・Ｒ７年間行事計画（仮３） | ・成績処理について（３学期・３年）<br>・授業時数統計<br>・入学者選抜業務<br>・準教科書・副教材の発注<br>・校歌指導実施要領 | ・職安報告「就職状況・名簿」<br>・第4回進路希望調査(1.2学年)<br>・大学入学共通テスト<br>・私立大学一般入試開始<br>・進路決定事後ガイダンス |
| | 2 | ・年度末反省会議<br>・学事報告作成<br>・R6入学式の立案<br>・「苫商風だより」発行<br>・修了式の立案<br>・予備登校の立案<br>・３・４月行事予定立案<br>・Ｒ７年間行事計画（仮４）<br>・年度末の日課変更等の調整 | ・成績処理について（３学期・１．２年）<br>・卒業認定会議<br>・入学者選抜業務<br>・Ｔ－ｂａｓｅ時間割調整 | ・職安報告「就職状況・名簿」<br>・職安報告「インターンシップ実施状況」<br>・就職促進会(４)<br>・国公立大学前期日程試験 |
| | 3 | ・卒業式の実施<br>・修了式の実施<br>・予備登校実施<br>・「苫商風だより」発行<br>・ＰＴＡ会報「苫商だより」発行<br>・ＰＴＡ役員会の実施<br>・４・５月行事予定立案<br>・Ｒ７年間行事計画（仮５）<br>・年度始めの日程について | ・学習・生活に関するアンケート③<br>・入学者選抜業務<br>・授業時数統計<br>・進級認定会議<br>・令和６年度年間指導計画およびシラバス作成<br>・指導要録の確認業務<br>・新年度準備 | ・「進路だより」発行<br>・職安報告「就職状況・名簿」<br>・職安報告「就職未内定状況」<br>・局報告「併願受験者数」<br>・局報告「就職(内定)状況」<br>・国公立大学後期日程試験<br>・私立大学後期入試<br>・進路決定一覧 |

# ２　サポート部

## （１）重点目標

生徒一人一人の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、同時に公共の精神や社会規範を尊重する意識や態度に基づいて、自主的・自律的に判断、行動し、積極的に自己を生かすことができるよう社会的資質や能力・態度を育成していくための支援・指導のあり方について、全教職員の共通理解・共通実践により推進する。

ア　全教職員が共通理解・共通実践を推進できるよう部をサポートチームの基盤として位置づける。
イ　規範意識をはぐくむ体制を構築する。
ウ　人格の育成を目指す発達的な生徒対応を推進する。
エ　現実の問題等に対して適応したり回避したりするための予防的な生徒対応を推進する。
オ　問題行動等に対する規制的あるいは対症療法的な生徒対応を推進する。
カ　個々人の持つ生得的な要因と、家庭・地域・学校・社会等の環境的な要因を見極め適切なサポート・指導を推進する。

## （２）具体的内容

### ア　規範意識の醸成

学校生活を営む上で必要な規範意識を育成し、生徒一人一人が公共の精神や社会規範との関連において自己実現を図れるよう社会的自己指導力を身につける観点からサポート・指導を推進する。

（ア）時・場所・状況に応じた挨拶、返事、態度、言葉遣いができるようにサポート・指導を行う。
（イ）相手の話を聞くことができるようにサポート・指導をおこなう。
（ウ）服装や頭髪等の清潔さや高校生らしさについて、社会から求められる高校生の身だしなみという観点で自ら行動できるようサポート・指導をおこなう。
（エ）学校生活に必要のない危険物（カッター等含む）を持ち込まないことや服飾品等を身につけないようサポート・指導をおこなう。
（オ）時間厳守の意識を定着できるよう、遅刻や早退、教室移動、昼食時間、ベル席について守ることができるようサポート・指導をおこなう。
（カ）各教室使用については、目的にあった利用をおこなう。HR教室以外では、原則飲食禁止とする。特性に応じた対応をおこなう場合は、学年団とサポート部で協議し教職員全体に周知する。相談室の利用については、利用する前に教職員に許可を得ることができるようサポート・指導をおこなう。
（キ）公共物の利用心得やルール、マナーを遵守できるようサポート・指導をおこなう。
（ク）情報委員会と連携し、情報モラル教育・情報安全教育を推進する。
（ケ）いじめや暴力行為、授業妨害等に対して、指導基準の明確化を図り、毅然とした態度で繰り返し粘り強い指導をおこなう。ただし、なぜ問題行動を起こしたのか、生徒の内面の問題に向き合い「見守り」や「受容」の姿勢を持ちつつも、間違っていることは間違っていると指摘し、バランスを重視しながら粘り強く指導をする。

### イ　関係機関との連携

校外において、高校生としての自覚をもとに責任ある言動ができるようサポート・指導をおこなう。保護者や地域社会、関係諸機関との連携を深め、校外生活指導や生命尊重の意識を高める取組を推進する。

（ア）ＰＴＡ、小・中・高連絡協議会、近隣校と連携し、生徒の健全育成を目指した取り組みを推進する。
（イ）祭典等での巡視活動による事故防止へ向けての取り組みを推進する。
（ウ）校外巡視をとおして危険箇所を把握し、校外生活での事故防止に努める。
（エ）公共施設の利用マナーや地域社会の一員としての自覚と責任を持つよう、サポート・指導をおこなう。
（オ）寮との連携を図り、状況を把握した上で、全教職員が共通理解・共通実践をおこなう。
（カ）自転車通学生の通学経路把握や安全点検・安全教室、及びバス通学生の利用マナーについてサポート・指導をおこなう。
（キ）普通自動車免許の取得についてのサポート・指導をおこなう。（自動車学校との連携を図る）
（ク）交通安全に関する意識の高揚を図る。

**ウ　心の健康教育**

集団におけるコミュニケーション力を高める取組をとおし、自己理解・他者理解を進め、心の育成を図る。

（ア）日ごろの観察による主観的分析と各種アセスメント検査による客観的分析をおこない、SC・SSW・PT活用事業による専門的な分析等を交えながら、一人一人のニーズに応じた具体的なサポート・指導をおこなう。

（イ）ソーシャルスキル・トレーニングやコーチングについて理解を深め、心の健康教育時だけではなく、全教員がその手法を授業や生徒対応に活かすことができるように情報を提供する。

**エ　生徒会**

生徒一人ひとりの自主性を高めるため、ＨＲとの連携を強化し、有意義な生徒会活動を目指す。委員会活動や部活動を活発化させ、リーダーの育成に努める。

（ア）リーダー研修会等をとおし、リーダーとしての意識を高められるようサポート・指導をおこなう。

（イ）生徒会執行部とＨＲ役員との連携を図れるようサポート・指導をおこなう。

（ウ）委員会の業務拡大を図り、各常任委員会が円滑に機能するようにサポート・指導をおこなう。

（エ）部活動の活性化に努め、部活動をとおして人間関係の育成に努める。

**オ　保健**

自己の心身に目を向け、生涯にわたって自主的に健康を保持増進することのできる生徒を育成する。

（ア）生徒の健康状態を的確に把握し、生徒の個人差に応じた健康管理・指導を行う。

（イ）保健情報の収集と資料の提供をとおして、健康・安全への意識の高揚を図る。

（ウ）救急処置や様々な学校保健活動をとおして健康・安全への関心を高め、実践力の育成を図る。

**カ　厚生**

教育環境の美化と整備を図り、公共物を大切にする気持ちと周囲の環境への関心を高める。

（ア）周囲の環境への美化と保全を心がけ、学習環境の整備に努める。

（イ）清掃活動をとおして生徒の美化意識の高揚と物を大切にする心を育てる。

## （３）業務分担

ア　総務

| | |
|---|---|
| （ア）関係機関との連絡 | （瀧川・鍜冶澤） |
| （イ）文書の授受と発送 | （瀧川） |
| （ウ）各研究会関係参加取りまとめ | （瀧川） |
| （エ）校内研修会の企画、立案 | （瀧川・鍜冶澤） |
| （オ）諸会議の連絡、学年団との連絡 | （瀧川・鍜冶澤） |
| （カ）諸届用紙の整備、規定見直し、生徒手帳作成 | （鍜冶澤・瀧川） |
| （キ）制服に関する業者との連絡、調整 | （瀧川・吉田） |
| （ク）諸規定見直し | （鍜冶澤・高橋） |

イ　生活・安全指導

| | |
|---|---|
| （ア）身だしなみに関する規定運用 | （鍜冶澤・菅原） |
| （イ）落とし物取り扱い | （菅原・鍜冶澤） |
| （ウ）生徒証明写真の整備 | （鍜冶澤・菅原） |
| （エ）バス通学生マナー教室、自転車安全教室 | （鍜冶澤・菅原） |
| （オ）アルバイト生の掌握・指導 | （鍜冶澤・菅原） |
| （カ）自動車学校入学希望者説明会 | （鍜冶澤・菅原） |
| （キ）遅刻集計、遅刻者指導 | （学級担任・サポート部） |
| （ク）長期休業中の事前指導 | （鍜冶澤・高橋） |
| （ケ）交通安全指導調整 | （鍜冶澤・高橋） |
| （コ）校内外巡視調整 | （鍜冶澤・菅原） |
| （サ）寮生の状況把握・対応 | （鍜冶澤・高橋） |
| （シ）祭典巡視調整 | （鍜冶澤・菅原） |
| （ス）情報モラル教室・情報安全教室の実施 | （鍜冶澤・菅原） |

（セ）問題行動に対する処分等の原案作成　（鍜冶澤）
（ソ）ネットパトロール　（鍜冶澤・菅原）

ウ　生徒会
（ア）執行部担当　（高橋・吉田）
（イ）各種委員会調整　（高橋・吉田）
（ウ）生徒会誌編集推進　（吉田・高橋）
（エ）リーダー研修会の実施　（高橋・吉田）
（オ）放送指導　（放送委員会担当教諭・吉田）
（カ）会計担当　（鍜冶澤・吉田）
（キ）部活同好会の活動計画の作成依頼と把握　（高橋・吉田）
（ク）各種行事の企画立案と運営　（高橋・吉田）

エ　心の健康教育（サポート委員会業務と重なる）
（ア）心の健康教育LHR年間計画・指導案作成　（瀧川・吉田）
（イ）苫商トークの調整推進　（瀧川・吉田）
（ウ）各種アセスメント検査の実施・分析　（瀧川・吉田）
（エ）入学前の外部機関との引き継ぎ計画作成　（瀧川・吉田）

オ　保健・厚生（学校保健委員会・防災対策委員会業務と重なる）
（ア）学校保健年間計画・学校安全計画の立案・推進　（吉田・瀧川）
（イ）学校環境衛生整備・清掃計画　（瀧川・吉田）

## （4）サポート部年間計画（業務分担工・オを除く）

| | | 生徒指導部 | | |
|---|---|---|---|---|
| 期 | 月 | 総務 | 生活・安全指導 | 生徒会 |
| 一学期 | 4 | 部会開催<br>寮との情報交換 | アルバイト生指導、交通安全街頭運動、自転車通学生点検・安全教室、バス添乗マナー教室<br>身だしなみ教室<br>情報モラル講話立案・講話 | 対面式、常任委員会推進、前期クラス役員名簿作成、交通安全街頭運動、部活動に関する業務<br>壮行会・前期生徒総会立案<br>学校祭準備 |
| | 5 | 部会開催<br>寮との情報交換 | | 壮行会、学校祭準備<br>同好会の昇格にかかわる業務<br>前期生徒総会、学校祭審議<br>夏季ボランティア立案 |
| | 6 | 部会開催<br>寮との情報交換 | 祭典巡視計画立案 | 交通安全街頭運動<br>学校祭準備、夏季ボランティア |
| | 7 | 部会開催<br>寮との情報交換 | 祭典巡視<br>夏季休業前指導 | 学校祭<br>生徒会役員選挙立案 |
| 二学期 | 8 | 部会開催<br>寮との情報交換 | | 生徒会役員告示<br>体育大会・生徒会役員認証式立案 |
| | 9 | 部会開催<br>寮との情報交換<br>中間反省と計画見直し | | 生徒会役員選挙<br>立会演説会、生徒会役員認証式<br>体育大会 |
| | 10 | 部会開催<br>寮との情報交換 | 交通安全街頭運動<br>防犯・薬物講話立案 | 後期生徒総会、後期クラス役員名簿作成、交通安全街頭運動<br>はまなす作成要項立案 |
| | 11 | 部会開催<br>寮との情報交換 | ３年生自動車学校入校説明会<br>防犯・薬物講話 | カルタ大会立案 |
| | 12 | 部会開催<br>寮との情報交換 | 冬季休業前指導 | カルタ大会<br>予餞会立案 |
| 三学期 | 1 | 部会開催<br>寮との情報交換<br>次年度の年間計画立案、次年度制服に関する業者打合せ | | はまなす編集<br>予餞会準備 |
| | 2 | 部会開催<br>寮との情報交換<br>年度末反省と計画見直し<br>次年度の年間計画立案 | 家庭学習期間指導 | はまなす印刷<br>予餞会<br>冬季ボランティア |
| | 3 | 部会開催<br>寮との情報交換<br>次年度の年間計画立案 | 部活同好会の降格および廃止にかかわる業務<br>生徒手帳の文言の見直し<br>年度末休業前指導 | はまなす発行 |
| その他 | | ・HP、インスタグラムの更新<br>（情報委員会の輪番制に沿って、各行事等ごとに担当者が作成、更新する） | | |

# 3　学校保健

## （1）重点目標

ア　自己の心身に目を向け、生涯にわたって自主的に健康を保持増進することのできる生徒を育成する。

## （2）具体的実践事項と内容

ア　保健教育について

（ア）保健体育科での保健学習の指導について情報共有等を行う。
（イ）理科、家庭科等関連教科における保健に関する指導について情報共有等を行う。
（ウ）学級活動や日常の学校生活における保健指導について情報共有等を行う。
（エ）学校行事の健康安全・体育的行事の保健に関する行事での情報共有等を行う。
（オ）保健室や学級において生徒の健康状態に応じて、救急処置、休養等の機会をとらえて個別にサポートを行う。
（カ）通信・配布物、掲示等を通じて保健情報の提供と啓蒙活動を行う。

イ　保健管理について

（ア）健康観察や保健調査を実施する。
　ａ　健康観察により生徒の健康状態の変化をとらえ、疾病の早期発見および予防に努める。
　ｂ　必要に応じて保健調査を行い、生徒の健康状態の把握に努める。
　ｃ　健康診断票、保健調査票等の保健関係諸表簿の作成と活用および保管をする。
（イ）定期健康診断の実施と結果に基づく適切な事後措置を行う。
（ウ）行事や生徒の実態に応じて必要な健康相談を行う。
（エ）学校環境衛生検査の実施とその事後措置を行う。
（オ）学校環境の美化と整備に努める。
（カ）感染症や食中毒の集団感染予防と、発生時の対応および校内体制の整備を行う。
（キ）生徒の健康・保健に関わる資料、情報の収集に努める。
（ク）保健室利用状況、家庭・地域の状況を基に健康課題を把握し、その解決に努める。
（ケ）災害補償制度（独立行政法人日本スポーツ振興センター及び全国高P連賠償責任補償制度）の事務手続きを行う。

ウ　厚生について

（ア）周囲の環境への美化と保全を心がけ、学習環境の整備に努める。
（イ）清掃活動をとおして生徒の美化意識の高揚と物を大切にする心を育てる。

エ　組織活動について

（ア）学校内における組織活動の充実を図る。
（イ）学校保健委員会において、保健活動の推進を図る。
（ウ）生徒保健委員会の指導と活動の活性化に努める。
（エ）地域、関係機関、団体との連携に努める。

## （3）緊急時救急体制

l　傷病者の発見と連絡

（ア）発見者は、ただちに付近にいる教職員に連絡するとともに、必要に応じて適切な応急手当を行う。発見者は可能な限り、傷病者のそばを離れず、応援がくるまで手当や観察を継続して行う。
（イ）連絡を受けた教職員は、可能な限り多くの教職員が現場に集まれるよう連絡をする。現場にてただちに教頭は全体把握と指揮をとる。教頭不在時は、１名が率先して行う。
（ウ）役割分担は以下のとおりとする。全体把握と指揮者である教頭が①～⑦の役割分担を迅速に行なう。ただし人数が足りない場合は、１人で複数の役割（①～⑦）を担う。
①傷病者対応（応急手当、観察、傷病者に対する言葉かけ）。基本的には第一発見者が行ない、養護教諭がかけつけたら交代する。養護教諭不在時は、かけつけた教職員と協力して対応にあたる。可能な限り、一人で対応しない。
②保健室から応急手当に必要なものを現場に運ぶ。保健室の棚に一式セットとして置いてある。また、毛布および担架（現場から一番近いところから）も運ぶ。セットの中に保健調査票もあるの

で、救急隊員からの聞き取りや、保護者の連絡先の際に確認する。
③医療機関搬送の判断をし、現場から救急車の要請を行う。その後校長に報告する。ただし、そのような時間が無い緊急性の高い場合は、まず発見者が現場から救急車を要請する。
④救急隊の誘導をする。救急隊が到着したら迅速に対応できるように、校舎外から現場への誘導を行なう。
⑤保護者（寮）への連絡をする。学級担任が行なうが、不在時は現場にいる教職員で対応する。
⑥本人または周囲にいた者から発生の事態・状態を把握する。ただし、本人から確認できない状態である場合は、動揺を抑えるために、周囲にいた者を現場から遠ざけ対応する。
⑦他生徒の動揺を抑える。別室に移動させ、動揺を抑えるよう言葉がけを行ない、落ち着かせてから指示を出す。
⑧教頭は①～⑦を実施できているか全体を掌握し、救急搬送が終了したら、周囲にいた者やクラスメイトへの対応について、担任（又は対応している教職員）に指示を出す。
⑨１名は、時刻等を記録する。AEDとセットになっている記録票を用いる。書式は令和３年度→事故報告書フォルダ内にある。

2　医療機関等への連絡と救急車の要請
（ア）電話連絡の際には、落ち着いて、順序よく、簡単明瞭に伝えること。
①携帯電話の場合
１１９番を入力し、１１９を画面で確認後発信ボタンを押す。携帯電話から１１９番通報をかけると、担当ブロックごとの管轄担当局が初めに応対する。携帯番号からかけていることを告げ、住所を告げると、そのから担当地域の消防本部へ転送される。
※北留萌消防組合消防署古丹別支所℡：０１６４－６５－４１１９
②一般電話の場合
受話器を取り、局番なしで１１９番をダイヤルする。担当地域の消防本部につながる。
③通報の内容は以下のように行なう。
・火災か救急かを聞かれる。救急であることをはっきり伝える。
・住所を聞かれる。学校名と住所を正確に伝える。校外の場合は現場の住所を伝える。住所がわからない場合は、近くの建物等目印になるものを伝える。この時点で救急車は出発するので、落ち着いて伝える。
・氏名及び連絡先を聞かれる。通報した教職員名と学校の電話番号など、聞かれたことに答える。
・いつ、誰が、どこで、どうしたのか、今どんな状態か、見たままを簡潔に伝える。なお、複数の傷病者がいる場合はそれも伝える。
・現場に到着した救急隊員には、次のことを伝える。
「救急隊が到着するまでの容体の変化」「傷病者のために行なった応急手当」「持病があればその病名、かかり付け病院及び主治医名」
・電話による応急手当の指導があることもある。落ち着いて従う。

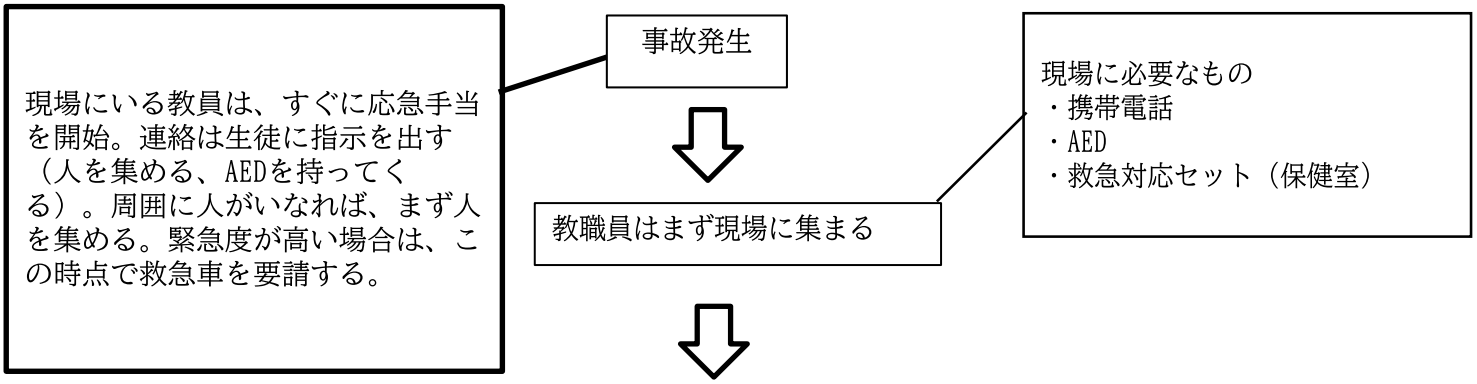
3　保護者（寮）への連絡・連携
（ア）傷病による医療機関への移送、家庭（寮）への帰宅の場合、担任(副)が保護者(寮)に連絡をする。不在時は教頭の指示により、現場にいる教職員で行なう。
（イ）生徒の移送は原則保護者が来校し行うが、それができない場合や救急車要請時は、学校が代行する。
（ウ）生徒の移送は二次災害を防ぐため、ハイヤー、救急車を利用する。状況によって、やむを得ない場合は校長の許可、指示を受け搬送する。
（エ）要医療で急を要する場合は保護者と相談の上、医療機関を決める。なお、連絡のとれない場合は学校が選択した病院とする。
（オ）保護者への連絡の際は無用な不安を与えないように心掛け、言葉に注意し、学校より移送された場合は健康保険証を持参の上、病院へ来ていただくように連絡する。

4　その他
（ア）加害者、被害者のある場合、学級担任は双方の保護者へ早急に連絡をとること。
（ウ）大きな事故の場合、教育局や報道関係者、その他部外者への応答は、情報の混乱を避けるため、学校の窓口を校長（教頭）とする。

## 《校内救急体制図》

**救急車要請：１１９**

**※北留萌消防組合消防署古丹別支所：０１６４－６５－４１１９**




教頭が指揮をとる。教頭不在時は、集まった教員の中から１名、率先して指揮をとる（第一発見者および養護教諭以外）。

指揮命令内容チェックシート

□　傷病者の状況を的確に把握しているか。

□　心肺蘇生を含む応急手当を継続して行なっているか。

□　応援の要請をしたか。

□　救急車の要請をしたか。

□　救急指令センター員による口頭指導を伝達したか。

□　AEDなどの重大事故発生時携行機材を手配したか。

□　AEDの電源を入れ、パッドを装着したか。

□　保護者に事故概要などを伝えたか。

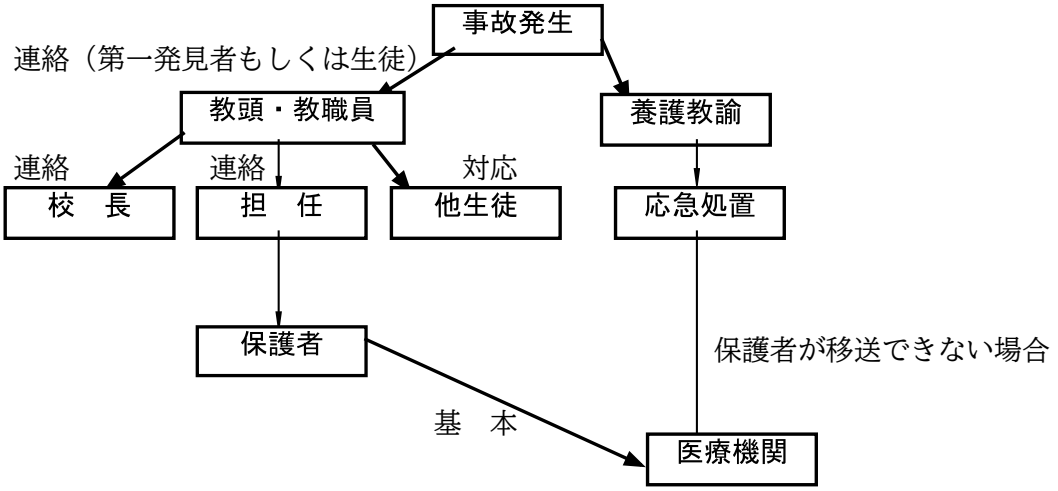
□　救急車の進入路を確保しているか。誘導の準備はできているか。

□　事故対応について時系列に記録をしているか。

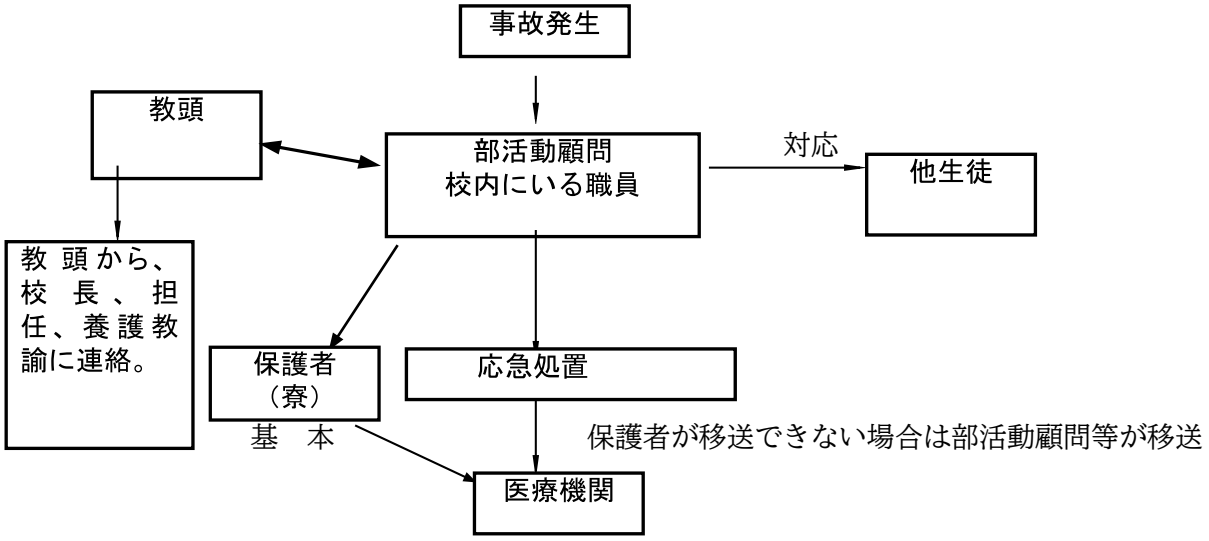
記録用紙は、チェックシートとともに、AED横のバックに入っている。

## 《傷病対応体制図》　※救急車の要請無し

### 【通常時】




### 【休日・管理職、養護教諭不在時（部活動など）】




## 《医療機関への移送について》

医療機関へ移送する必要のある場合は、家庭（職場）に連絡し医療機関を決定する。
連絡が取れない等、やむを得ない場合は学校側で医療機関を決定する（救急隊委員に委ねる）。
生徒の移送は緊急度が高い場合は救急車、緊急度が低い場合は、二次災害を防ぐため、保護者による受診とする。保護者の迎えを待てない事案の場合は、公共交通機関やタクシーの利用とするが、状況によって、やむを得ない場合は校長（教頭）の許可、指示を受け搬送する。

## （4）学校保健年間計画

| 期 | 月 | 保健目標 | 学校保健関係行事 | 保健管理 | | 保健教育 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 対人管理 | 対物管理 | 保健指導 |
| 一学期 | 4 | ・基本的生活習慣を身につけよう<br>・自分の身体の健康状態を把握し、健康生活を実践しよう<br>・感染症対策を身につけよう。 | 定期健康診断<br>・身体測定<br>・尿検査<br>・内科検診<br>・歯科健診<br>・心電図検査<br>・結核検診<br>・健康相談 | 定期健康診断の計画と実施<br>慢性疾患をもつ生徒の把握<br>保健調査票の整理<br>健康相談、健康観察<br>諸表簿の整理<br>宿泊研修事前保健調査・健康相談<br>独立行政法人日本スポーツ振興センターおよび一般財団法人高等学校PTA安全互助会加入手続き<br>学校感染症への対応整備 | 保健室の整備<br>衛生備品の整備<br>薬品の補充<br>安全・防災点検<br>清掃点検<br>清掃区域分担<br>清掃用具点検<br>用具の補充<br>大掃除 | 定期健康診断事前・事後措置<br>宿泊研修に伴う健康相談・保健サポート<br>保健だより発行 |
| | 5 | ・疾病の予防と早期治療に努め健康を見直そう | 定期健康診断<br>・尿検査(３次)<br>・健康相談<br>宿泊研修事前健康相談 | 定期健康診断の実施と治療勧告<br>健康状況把握<br>疾病異常要注意者の管理確認<br>保健調査票の整理<br>健康診断票の整理<br>健康相談、健康観察 | 安全・防災点検<br>清掃点検<br>救急用薬品管理 | 定期健康診断事前・事後措置<br>疾病治療の勧告<br>保健だより発行 |
| | 6 | ・正しい救急法を身につけよう。<br>・生活習慣を整え、心身の健康を守ろう<br>・自他ともに心身を大切にできる心を持とう | ・健康相談<br>救急法講習会（教職員）<br>環境衛生検査 | 定期健康診断の実施と治療勧告<br>健康状況把握<br>保健調査票の整理<br>健康診断票の整理、諸表簿の整備<br>健康診断結果一覧表作成<br>健康相談、健康観察<br>職員健康診断の計画・準備<br>熱中症対策 | 安全点検<br>清掃点検<br>環境衛生検査<br>照度・水質検査 | 定期健康診断事後措置<br>疾病治療の勧告<br>救急法講習会<br>職場実習に伴う健康相談<br>保健だより発行 |
| | 7 | ・熱中症について、予防法と応急手当を身につけよう。 | 学校祭（衛生） | 熱中症対策<br>疾病治療の勧告・継続<br>諸表簿の整備<br>健康相談<br>健康観察 | 安全点検<br>大掃除<br>清掃点検<br>清掃用具点検・補充 | 夏季休業中の保健指導<br>疾病治療勧告<br>保健だより発行 |
| 二学期 | 8 | ・生活習慣を見直し、規則正しい生活をしよう<br>・水難事故や食中毒などに注意し、夏季の健康管理に努めよう | 職員健康診断<br>環境衛生検査 | 職員健康診断の計画・準備<br>健康状態把握<br>健康相談、健康観察<br>疾病治療状況の把握<br>実習販売会事前保健調査 | 保健室の整備<br>空気中化学物質検査<br>安全点検、清掃点検<br>大掃除 | 疾病治療勧告<br>保健だより発行 |
| | 9 | ・安全に体力をつけ、健康増進と維持管理に努めよう | 体育大会<br>健康相談<br>実習販売会 | 健康相談、<br>健康観察<br>職員健康診断事後措置 | 薬品の補充<br>安全・防災点検<br>大掃除<br>清掃点検 | 体育大会に伴う安全対策と啓蒙<br>保健だより発行 |
| | 10 | ・生涯にわたり歯の健康を維持する姿勢を身につけよう。 | 健康相談<br>見学旅行<br>施設見学会 | 見学旅行事前保健調査<br>健康相談、健康観察 | 救急用薬品管理<br>安全点検<br>清掃点検 | 見学旅行に伴う健康相談・保健サポート<br>保健だより発行 |
| | 11 | ・飲酒、喫煙、薬物等に関しての正しい知識を持ち、高校生としての自覚を持った行動をしよう | 薬物乱用防止教室<br>救急法講習会（生徒） | 健康相談<br>健康観察<br>感染症の予防対策 | 安全・防災点検<br>清掃点検 | 薬物乱用防止教室<br>救急法の指導<br>救急法講習会<br>感染症予防<br>保健だより発行 |
| | 12 | ・健康で事故のない冬の生活を送ろう<br>・健康で安全な暮らしについて考えよう | | 健康相談<br>健康観察<br>感染症の予防対策 | 安全点検<br>大掃除<br>清掃点検<br>清掃用具点検、補充 | 冬季休業中の保健指導<br>疾病治療勧告<br>感染症予防<br>保健だより発行 |
| 三学期 | 1 | ・生活習慣を見直し、規則正しい生活をしよう<br>・命の尊さを学び、自己を大切にしよう | スキー授業 | 健康状態把握<br>健康相談<br>健康観察<br>感染症の予防対策 | 保健室の整備<br>安全・防災点検<br>大掃除<br>清掃点検 | 感染症予防<br>保健だより発行 |
| | 2 | ・安全に冬のスポーツに親しみ、体力の向上に努めよう | スキー授業・遠足<br>年度末反省 | 健康相談、健康観察<br>感染症の予防対策<br>保健室利用状況統計<br>年度末まとめ準備 | 薬品の補充<br>安全点検<br>大掃除<br>清掃点検 | 感染症予防<br>スキー遠足に伴う安全対策と啓蒙<br>保健だより発行 |
| | 3 | ・１年間の健康で安全な生活を振り返り、今後に向けて見直そう<br>・心身の健康生活の実践に努めよう | 学校保健計画の評価と反省<br>新年度の計画 | 健康相談、健康観察<br>感染症の予防対策<br>年度末反省・評価<br>諸表簿の整備<br>年間保健室利用状況調査<br>年間災害発生給付状況処理<br>新年度学校保健年間計画案作成<br>新年度検診準備 | 安全・防災点検<br>大掃除<br>清掃点検<br>清掃用具点検・補充 | 学年末休業中の保健指導<br>疾病治療勧告<br>保健だより発行 |

## （5）学校安全年間計画

| 期 | 月 | 安全管理 | 安全教育 |
|---|---|---|---|
| 一学期 | 4 | 学校安全計画の設定、自衛消防組織の編成、<br>避難経路図作成、校舎内各室管理責任者一覧表作<br>成通学状況調査、理科薬品の点検、管理（通年）<br>独立行政法人日本スポーツ振興センター災害補償<br>制度加入手続き・事務手続き（通年）<br>高Ｐ連賠償責任補償制度（通年）<br>保健室医薬品の点検、整備（通年）<br>体育施設用具の点検、整備（通年）<br>防災点検（避難経路の確認）、安全点検 | 校舎使用上の注意、自転車利用生の安全教室<br>バス通学生マナー教室、交通安全運動、交通安<br>全教室<br>アルバイト生掌握・指導<br>校外生活指導・巡視<br>宿泊研修に伴う安全指導<br>連休中の安全指導 |
| | 5 | 防災点検(防火施設，設備の点検)、安全点検 | 校外生活指導・巡視（通年）<br>寮生の状況把握とサポート・指導（通年） |
| | 6 | 避難訓練　、環境衛生検査、安全点検 | 避難訓練、救急法講習会（教職員）、職場実習<br>に伴う安全指導、学校祭の準備と安全について |
| | 7 | 安全点検 | 祭典巡視、アルバイト生掌握・指導<br>夏季休業中の安全指導 |
| 二学期 | 8 | 安全点検 、環境衛生検査 | 校外生活における安全指導 |
| | 9 | 防災点検（防火施設、設備の点検）、救急救命法<br>講習会、安全点検 | 交通安全指導、販売会に伴う安全指導、体育大<br>会に伴う安全指導 |
| | 10 | 安全点検<br>暖房設備点検<br>避難訓練 | 見学旅行に伴う安全指導、避難訓練に伴う安全<br>指導、暖房用具使用に伴う安全指導、自動車学<br>校入学希望者説明会、 |
| | 11 | 防災点検（防火施設、設備の点検）、安全点検 | 冬期間におけるスポーツと安全指導、救急救命<br>講習会（生徒） |
| | 12 | 安全点検 | 冬季休業中の安全指導、冬道通学に伴う安全指<br>導、アルバイト生掌握・指導 |
| 三学期 | 1 | 防災点検（避難経路確認）、安全点検 | 冬道通学に伴う安全指導、スキー授業に伴う安<br>全指導 |
| | 2 | 安全点検、年度末反省と評価 | スキー授業に伴う安全指導 |
| | 3 | 防災点検（防火施設、設備の点検）、安全点検<br>年間災害発生給付状況調査、生徒用机・椅子の点<br>検整備、次年度学校安全計画（案）の作成 | 学年末休業中の安全指導<br>（交通安全、安全な野外活動） |

## 5　各室管理責任者

| 場　　所 | 責任者 | 1階トイレ | 養護教諭 | 視聴覚準備室 | 教務主任 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1　　階 | | 生徒玄関 | 生徒指導主事 | 放送室 | 生徒会担当 |
| 校長室 | 事務長 | ボイラー室 | 事務長 | 生徒会室 | 生徒会担当 |
| 事務室 | 事務長 | 集塵室 | 公務補 | 相談・教材室 | 特支ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ |
| 保健室 | 養護教諭 | 体育館 | 体育科教諭 | 3　　階 | |
| 宿直室 | 事務長 | 格技場 | 体育科教諭 | 芸術教室 | 吹奏楽部顧問 |
| 公務補室 | 公務補 | 2　　階 | | 商業実践室 | 商業科教諭 |
| 職員トイレ | 公務補 | 選択教室 | 公共担当教諭 | 簿記実習室 | 商業科教諭 |
| 職員玄関 | 事務長 | 職員室 | 教頭 | 商業準備室 | 商業科科長 |
| 1階相談室 | 特支ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀ | 進路指導室 | 進路指導主事 | 理科室 | 日本史担当教諭 |
| 作法室 | 養護教諭 | 各　Ｈ　Ｒ | 各担任 | 理科準備室 | 理科教諭 |
| 調理教室 | 学校保健委員会教諭 | 会議室 | 教務主任 | 商品実験室 | 理科教諭 |
| 調理準備室 | 学校保健委員会教諭 | サハリン室 | 英語科教諭 | 計算実務室 | 商業科教諭 |
| 被服教室 | 養護教諭 | 職員トイレ | 公務補 | 文書実務室 | 商業科教諭 |
| 図書室 | ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ部図書 | 2階トイレ | 養護教諭 | 3階トイレ | 養護教諭 |
| 司書室 | ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ部図書 | 視聴覚教室 | 教務主任 | | |

# 4　各学年

## （1）　第１学年

### ①　重点目標

1　自分を知る 根幹である授業を通して生徒の学ぶ姿勢、学びに対する興味関心を喚起し、主体的に自ら学ぶ（学び続ける）姿勢を持った生徒を育てていく

2　社会を知る 学校生活に慣れ、基本的生活習慣を身に付けさせるとともに、集団行動を通して「個」の大切さを認識させる。授業を通して主体的に学ぶ姿勢を 確立させる

### ②　重点課題と具体的実践事項

1　学習指導

（ア)学力を伸ばすための学習法を確立させる(反復学習、要点をしぼった学習ついて丁寧に指導する）

（イ)苦手科目のある生徒を積極的に支援する

（ウ)生徒の成績不振を生徒の努力不足だけのせいにせず、積極的に対話しながら、責任を持って、粘り強く指導する。

(エ)教科担任と密接に連携し、生徒の学習状況を常に把握しておく

2　生活指導

（ア)授業をはじめ、ＨＲ、課外活動等、学校生活のあらゆる場面において、積極的に生徒と対話し、良好な人間関係を築く

（イ)教師から生徒に積極的に挨拶したり、声がけをする

（ウ)イジメ、からかい等の起こりにくいクラスの雰囲気作りに努める

3　進路指導

(ア)個々人が希望する職業に就くために適した学部学科を選択できるように、年間を通じてキャリア意識を高める指導を展開する

（イ)生徒自身の過去・現在・未来に関わる情報、及び進路に関わる情報を蓄積し、きめ細かい進路指導に努める

4　家庭との連携

（ア）家庭との連携を密にし、個々の生徒の実態に応じた指導に努める。

（イ）学級通信をとおして、学校の生活状況等の情報の提供に努める。

### ③　業務分担

| 業　務 | 内　　容 | 担　当 |
|---|---|---|
| 総務 | 1　行事・企画等の計画・立案<br>2　各種調整業務<br>3　ＰＴＡ・家庭との連携<br>4　ＬＨＲ計画 | ○松　下<br>佐　賀<br>村　田<br>瀧　川 |
| 学習指導 | 1　学習環境の整備<br>2　教科担任との連携<br>3　成績不振者・長期欠席者への指導<br>4　学習に関わる資料の作成と整理 | ○松　下<br>佐　賀<br>村　田 |
| 生活指導 | 1　各種行事の運営指導<br>2　日常生活の指導（身だしなみ、遅刻、欠席等）<br>3　教育相談・環境整備<br>4　健康管理の指導<br>5　交通安全の指導 | ○松　下<br>佐　賀<br>村　田<br>瀧　川 |
| 進路指導 | 1　進路に関わるＬＨＲ等の計画・実行<br>2　進路に関わる資料の作成と整理<br>3　進路相談<br>4　各種講習・模擬試験に向けた指導 | ○松　下<br>佐　賀<br>村　田 |
| 庶務 | 1　各種資料の整理<br>2　会計・記録 | ○佐　賀<br>村　田<br>松　下 |

### ④　研修課題

1　基本的生活習慣の確立と他を思いやる心の育成について

イ　家庭との連携を図った情報の交換について

## （２）　第２学年

### ①　重点目標

ア　規則正しい生活習慣を心掛け、家庭学習の習慣や体調管理等、自己管理する力を養う。
イ　集団の一員である自覚を持ち、他者を思いやる言動や責任ある行動ができる生徒を育む。
ウ　進路目標を明確に持ち、その実現に向けて努力する態度を養う。

### ②　重点課題と具体的実践事項

ア　学習指導
（ア）授業に積極的に取り組む姿勢と、目標に向けた学習習慣を定着させる。
（イ）学年間および教科担任との連携を密にし、各生徒の学習状況の把握に努める。
（ウ）学習環境の整備に努める。

イ　生活指導
（ア）身だしなみや言葉遣い、挨拶等の指導に重点をおき、社会で通用する作法を身につけさせる。
（イ）集団の一員であることを自覚させ、責任をもって行動できるようにさせる。
（ウ）行事等をとおして、積極性、自主性、協調性、行動力を身につけさせる。

ウ　進路指導
（ア）教育相談や面談等をとおして、進路に対する意識を高め、目標に向けて努力する姿勢を養う。
（イ）ガイダンス部と連携し、的確な情報提供と希望する進路に対する知識を深めさせる。

エ　家庭との連携
（ア）家庭との連携を密にし、個々の生徒の実態に応じた指導に努める。
（イ）学年通信をとおして、学校生活や進路情報の提供に努める。

### ③　業務分担

| 業　務 | 内　　容 | 担　当 |
|---|---|---|
| 総務 | ア　行事・企画等の計画・立案<br>イ　各種調整業務<br>ウ　ＰＴＡ・家庭との連携<br>エ　ＬＨＲ計画 | ○高　橋<br>藤　田<br>菅　原 |
| 学習指導 | ア　学習環境の整備<br>イ　教科担任との連携<br>ウ　成績不振者・長期欠席者への指導<br>エ　学習に係る資料の作成と整理 | ○高　橋<br>藤　田<br>菅　原 |
| 生活指導 | ア　各種行事の運営指導<br>イ　日常生活の指導（身だしなみ、遅刻、欠席等）<br>ウ　教育相談・環境整備<br>エ　健康管理の指導<br>オ　交通安全の指導 | ○高　橋<br>藤　田<br>菅　原 |
| 進路指導 | ア　進路に係るＬＨＲ等の計画・実行<br>イ　進路に係る資料の作成と整理 | ○高　橋<br>藤　田<br>菅　原 |
| 庶務 | ア　各種資料の整理<br>イ　会計・記録 | ○高　橋 |
| インターンシップ | ア　企業との連携・各種調整業務<br>イ　企画の立案<br>ウ　文書等の作成・発送<br>エ　生徒の指導・巡回 | ○高　橋<br>藤　田<br>菅　原 |

### ④　研修課題

ア　社会の変化に対応できる力、心の育成について
イ　家庭との連携を図った情報の交換について

## （３）　第３学年

### ①　重点目標

ア　最上級生としての自覚と責任の下、自主的、社会的な行動を促す。
イ　自己の将来を見通した進路目標を明確にもたせ、その実現に向け最大限努力する姿勢を発揮させる。
ウ　社会人としての自己管理能力の向上を図る。

### ②　重点課題と具体的実践事項

1　学習指導
(1) 自己の定めた目標達成に向け、授業に集中して積極的に取り組む姿勢を定着させる。
(2) 学年間および教科担任との連携を密にし、各生徒の学習状況の把握に努める。
(3) 学習環境の整備に努める。
2　生活指導
(1) 集団の一員であることをしっかりと自覚させ、社会人としての責任感を意識させる。
(2) 身だしなみ、言葉遣い、挨拶等、社会に出てもしっかりとやっていけるような基本的な行動を徹底して身につけさせる。
(3) 何事にも積極的に参加する姿勢を育て、自主性、協調性、行動力を身につけさせる。
3　進路指導
(1) 生徒との日常的なコミュニケーションやＨＲでの指導等をとおして、進路に対する個々の意識を高め、その目標達成に向けて最大限努力させる。
(2) ガイダンス部との連携を強化し、的確な進路情報を適宜提供することにより、希望する進路に対する知識を深めさせる。
4　家庭との連携
(1) 家庭との連携を密にして、個々の生徒の実状にあった指導に努める。
(2) 学級通信等をとおして、学校生活や進路情報の提供を適宜行う。

### ③　業務分担

| 業　務 | 内　　容 | 担　当 |
|---|---|---|
| 総務 | 1　行事・企画等の計画・立案<br>2　ＰＴＡ・家庭との連携<br>3　ＬＨＲ計画 | ○鍜冶澤<br>虎野<br>吉田 |
| 学習指導 | 1　学習環境の整備<br>2　教科担任との連携<br>3　成績不振者・長期欠席者への指導<br>4　朝学習の推進・学習に関わる資料の作成と整理 | ○鍜冶澤<br>虎野<br>吉田 |
| 生活指導 | 1　各種行事の運営指導<br>2　日常生活の指導（身だしなみ、遅刻、欠席等）<br>3　教育相談・環境整備<br>4　健康管理の指導<br>5　交通安全の指導 | ○鍜冶澤<br>吉田<br>虎野 |
| 進路指導 | 1　進路に係るＬＨＲ等の計画・実行<br>2　進路に係る資料の作成と整理 | ○虎野<br>鍜冶澤<br>吉田 |
| 庶務 | 1　各種資料の整理<br>2　会計・記録 | ○吉田<br>鍜冶澤<br>虎野 |

### ④　研修課題

ア　社会人としての心構えの育成
イ　挨拶やマナーの徹底
ウ　家庭との連携を図った情報の交換について

# 5　商業科

## （1）重点目標

ア　実社会で求められる能力の育成を目指し、ビジネスに関する基礎的な知識・技術の習得を図る。
イ　豊かな人間性とコミュニケーション能力を育てるとともに、ビジネスの諸活動に対する心構えや態度
　　の育成に努める。
ウ　学習意欲の低下、目的意識の欠如など、生徒の多様化した実態に対応した指導をする。
エ　検定試験の受験を奨励し、受験者の指導体制を充実させ、資格取得を促す。

## （2）重点課題と具体的実践事項

ア　きめ細かな指導を行い、基礎・基本となる力の育成と向上を図る。
イ　各科目の担当者を中心に指導内容を検討・厳選し、授業を充実させる。
ウ　資格取得を奨励し、取得率の向上に努める。
エ　各種全校商業大会を実施し、学習意欲、資格取得意欲の向上に努める。
オ　接遇の指導を徹底し、ビジネスマナーを定着させる。
カ　商業学習の集大成として、販売実習会を実施し、実践力の育成を図る。
キ「北海道高等学校商業教育フェア」などの対外行事へ積極的に参加する。
ク　シラバスおよび教育課程に関して継続的に検討していく。
ケ　生徒の教育環境を整備する。

## （3）業務分担

ア　検定業務

（ア）簿記（６・１月）　高　橋・菅　原　（オ）ビジネス計算（６・11月）鍛冶澤・藤　田
（イ）ビジネス文書（７・11月）藤　田・鍛冶澤　（カ）英語（９・12月）　菅　原・虎　野
（ウ）情報処理（９・１月）　虎　野・高　橋　（キ）会計実務（10月）　高　橋・鍛冶澤
（エ）商業経済（２月）　菅　原・虎　野

イ　学校会計

（ア）教材費（ファイル・印鑑代）　○虎　野・藤　田
（イ）課題研究費　○鍛冶澤・高　橋

ウ　各種行事

（ア）販売実習会　○商業科（全教職員）
（イ）商業教育フェア　○虎　野・藤　田
（ウ）全国産業教育フェア　○高　橋
（エ）商業大会　（電卓）　○高　橋・藤　田・虎　野
　　（パソコン）　○鍛冶澤・菅　原・虎　野

エ　各科目担当者

| 1　年 | | 2　年 | | 3　年 | |
|---|---|---|---|---|---|
| ビジネス基礎 | ○藤田 | 財務会計Ⅰ | ○藤田・虎野・鍛冶澤・菅原 | 課題研究 | ○鍛冶澤・高橋・藤田 |
| 簿記 | ○菅原・鍛冶澤 | | | ビジネス法規 | ○虎野 |
| 情報処理 | ○高橋・菅原 | ソフトウェア活用 | ○鍛冶澤 | 原価計算 | ○藤田・鍛冶澤・高橋菅原 |
| とままえ基礎 | ○虎野・藤田 | マーケティング | ○藤田 | | |
| | | オロロンデザインⅠ | ○高橋・藤田 | プログラミング | ○高橋・菅原 |
| | | | | オロロンデザインⅡ | ○虎野・藤田 |
| | | | | トータルビジネス | ○虎野・鍛冶澤・高橋藤田・菅原 |

## （4）研修課題

ア　生徒の実態に応じた指導のあり方について　イ　実社会が求める商業教育の展開について
ウ　検定試験に対する取り組みについて　エ　教材の活用方法について

# 6　総合的な探究の時間

## （1）重点目標

1　探究の見方・考え方を働かせ、各種の学習に主体的に取り組み、探究の意義や価値を理解する。
2　探究活動を通じ、自己のあり方や生き方を考え、よりよく課題を発見し、解決する資質・能力を育む。

## （2）重点課題と具体的実践事項

1　苫前町および北海道の産業や地誌についての理解を深める。
2　苫前町や苫前商業高校の特色について、他の地域へ発信する。
3　インターンシップや各種講話をとおして、進路意識を高め、職業意識の醸成を図る。
4　体験的に学んで身につけた知識・技能を発表することにより、コミュニケーション能力の育成を図る。

## （3）実施日程

| | 1学年（1単位） | | 2学年（2単位） | | 3学年（1単位） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 月 | 内容 | 時数 | 内容 | 時数 | 内容 | 時数 |
| 4 | オリエンテーション | 1 | オリエンテーション<br>インターンシップ<br>・・・希望調査 | 1<br><br>1 | オリエンテーション | 1 |
| 5 | 校歌指導<br>職業を知るガイダンス<br>北海道新規開拓事業見学会<br>（エスコン見学会） | 1<br>2<br>6 | 校歌指導<br>職業を知るガイダンス<br>北海道新規開拓事業見学会<br>（エスコン見学会） | 1<br>2<br>6 | 職業を知るガイダンス<br>北海道新規開拓事業見学会<br>（エスコン見学会） | 2<br>6 |
| 6 | | | インターンシップ<br>・・・ガイダンス<br>・・・事前訪問<br>・・・結団式<br>インターンシップ | <br>1<br>2<br>1<br>30 | 求人票・総合型入試<br>について | 1 |
| 7 | 進路講話<br>町内施設見学会 | 1<br>6 | 進路講話<br>インターンシップ<br>・・・事後指導 | 1<br><br>2 | 進路講話 | 1 |
| 8 | | | | | | |
| 9 | | | | | | |
| 10 | 進路講話（進路相談員）<br>体験発表会リハーサル<br>体験発表会最終調整 | 1<br>4<br>2 | 進路講話（進路相談員）<br>体験発表会リハーサル<br>体験発表会最終調整 | 1<br>4<br>2 | 体験発表会リハーサル<br>体験発表会最終調整 | 4<br>2 |
| 11 | 体験発表会 | 6 | 体験発表会 | 6 | 体験発表会 | 6 |
| 12 | 進路ガイダンス | 1 | 進路ガイダンス | 1 | 進路講話（着こなし） | 2 |
| 1 | 面接指導 | 1 | 面接指導 | 1 | 進路決定事後ガイダンス | 1 |
| 2 | 校歌指導 | 1 | 校歌指導 | 1 | | |
| 3 | 進路講話（卒業生） | 2 | 進路講話（卒業生） | 2 | | |
| ※ | | | 進路探究 | 4 | 進路探究 | 4 |
| 計 | | 35 | | 70 | | 30 |

# 7　ＬＨＲ年間計画

| 月 | 日 | 曜日 | １年 | ２年 | ３年 |
|---|---|---|---|---|---|
| ４ | ９ | 火 | 学校生活について(２時間)<br>職業を知るガイダンス希望調査 | 新年度の学校生活について<br>職業を知るガイダンス希望調査 | 新年度の学校生活について<br>職業を知るガイダンス希望調査 |
| | １０ | 水 | SC・SSW活動について(2時間) | SC・SSW活動について(2時間) | SC・SSW活動について(2時間) |
| | １１ | 木 | 身だしなみ教室・写真撮影(2時間) | 身だしなみ教室・写真撮影(2時間) | 身だしなみ教室・写真撮影(2時間) |
| | １９ | 金 | 進路希望調査(1)・前期HR役員選出<br>苫商トークシート作成 | 進路希望調査(1)・前期HR役員選出<br>苫商トークシート作成 | 進路希望調査(1)・前期HR役員選出<br>苫商トークシート作成 |
| | ２４ | 水 | 学校祭原案について<br>宿泊研修事前指導(1) | 学校祭原案について | 学校祭原案について |
| | ２５ | 木 | 情報モラル講話 | 情報モラル講話 | 情報モラル講話 |
| ５ | ９ | 木 | 前期生徒総会議案審議 | 前期生徒総会議案審議 | 前期生徒総会議案審議 |
| | １５ | 水 | 宿泊研修事前指導(2) | | |
| | １６ | 木 | 宿泊研修事前指導(3) | | |
| | １７ | 金 | | | |
| | ２２ | 水 | 宿泊研修事後指導 | | |
| | ２３ | 木 | 心の健康教育(1) | 心の健康教育(1) | 心の健康教育(1) |
| | ３１ | 金 | 学校祭係決めについて | 学校祭係決めについて | 学校祭係決めについて |
| ６ | １３ | 木 | hyperQU実施<br>心の健康教育(2) | hyperQU実施<br>心の健康教育(2) | hyperQU実施<br>心の健康教育(2) |
| | ２１ | 金 | 学校祭(クラパ)について | 学校祭(クラパ)について | 学校祭(クラパ)について |
| ７ | １ | 月 | 進路希望調査(2)<br>自己理解について(hyperQU振り返り) | 進路希望調査(2)<br>自己理解について(hyperQU振り返り) | 進路希望調査(2)<br>自己理解について(hyperQU振り返り) |
| | ２２ | 月 | | 見学旅行事前指導(1) | |
| | ２３ | 火 | 夏季休業に向けて<br>心の健康教育(3) | 夏季休業に向けて<br>心の健康教育(3) | 夏季休業に向けて<br>心の健康教育(3) |
| ８ | ２３ | 月 | ２学期に向けて<br>心の健康教育(4) | ２学期に向けて<br>心の健康教育(4) | ２学期に向けて<br>心の健康教育(4) |
| | ２９ | 木 | | 見学旅行事前指導(2) | |
| | ３０ | 金 | 体育大会について<br>後期HR役員選出 | 体育大会について<br>後期HR役員選出 | 体育大会について<br>後期HR役員選出 |
| ９ | ５ | 木 | 進路決起集会 | 進路決起集会 | 進路決起集会 |
| | ２０ | 金 | 心の健康教育(5) | 心の健康教育(5)<br>見学旅行事前指導(3) | 心の健康教育(5) |
| １０ | ７ | 月 | | 見学旅行事前指導(4) | |
| | １８ | 金 | 後期生徒総会議案審議<br>進路希望調査(3) | 後期生徒総会議案審議<br>進路希望調査(3) | 後期生徒総会議案審議 |
| １１ | ８ | 金 | 心の健康教育(6) | 心の健康教育(6) | 心の健康教育(6) |
| １２ | ６ | 金 | | | （タイムリーテーマ） |
| | １３ | 金 | 心の健康教育(7) | 心の健康教育(7) | 心の健康教育(7) |
| | ２３ | 月 | 冬季休業に向けて | 冬季休業に向けて | 冬季休業に向けて |
| １ | １４ | 火 | 学年末に向けて | 学年末に向けて | 学年末に向けて |
| | １７ | 金 | 進路希望調査(4) | 進路希望調査(4) | |
| | ２４ | 金 | 予餞会について | 予餞会について | 予餞会について |
| | ３１ | 金 | | | 家庭学習機関の生活について |
| ２ | ２７ | 木 | 卒業式について | 卒業式について | |
| | ２８ | 金 | | | 卒業式について(2時間) |
| ３ | ７ | 金 | 学習状況調査 | 学習状況調査 | |
| | ２４ | 月 | １年の振り返りと次年度への準備 | １年の振り返りと次年度への準備 | |
| | | | ３４時間 | ３５時間 | ３０時間 |

# 8　令和６年度 道徳教育全体計画

| 関係法規等 | 学校教育目標 | 北海道教育の基本理念 |
|---|---|---|
| ○教育基本法<br>○学校教育法<br>○学習指導要領 | (1)あらゆることに興味・関心を持ち、主体的に学ぶ意欲・態度を育てる。<br>(２)自己研鑽を惜しまず、物事を客観的に捉え、心身ともに調和のとれた人を育てる。<br>(3)地域の教育力を生かし、幅広い思考力・判断力・表現力を育てる。 | 自立：自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む。<br>共生：ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む。 |

| 道徳教育の重点目標 |
|---|
| （１）確かな学力の育成と、商業に関する専門的な知識・技能の啓発に努める。<br>（２）基本的生活習慣の確立と、望ましい生き方・在り方の啓発に努める。<br>（３）生徒一人一人の個性・適性・能力に応じた学習指導と進路指導を研究・実践する。 |

| １　各教科 |
|---|
| 国　　語：想像力・思考力・表現力を養うために、国語に対する興味・関心を高める。「聞き取る力」「読み取る力」を獲得し、自他の違いを理解し、尊重する態度を育てる。<br>地歴公民：国際社会における日本の立場を理解し、各国の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての認識を深める。平和で民主的な社会を形成する日本人として広い視野と公正な判断力を身につけ、積極的に社会に参加できる資質、能力を養う。<br>数　　学：数学的に考察し筋道を立てて考え表現する能力を高めることにより、道徳的判断力を育成する。また、数学に興味・関心を持たせ、数学的論拠に基づいて、積極的に実生活で活用する態度を育てる。<br>理　　科：自然の事象・現象を探究する活動をとおし、自然と人間とのかかわりについて科学的に考える力を養う。また、生命の尊重や地球環境を大切にする心情や態度、判断力を育成する。<br>保健体育：心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。<br>芸　　術：生涯にわたり芸術を愛好する心情を育て、感性を高めるとともに、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。<br>外 国 語：言語や文化に対する関心を深め、日本語、英語を問わず外国人と臆することなくコミュニケーションを図ろうとする意志を育む。また、将来にわたり、ことばを楽しんで学んでいこうとする素地を養う。<br>家　　庭：人間の生涯の発達と生活の営みを総合的にとらえ、生活に必要な知識と技術を習得し、主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。<br>商　　業：将来の社会の担い手として、ビジネスの諸活動の基本であるコミュニケーション能力の育成と生命・自然・ものを大切にする、人間性豊かな職業人として必要な規範意識、倫理観等を各科目において育成する。 |

| ２　総合的な探究の時間 |
|---|
| さまざまな活動をとおして、学び方やものの考え方を身につけ、ものごとに主体的、創造的に取り組む態度を育成するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験的な活動を取り入れることで、社会における基礎力の育成を図る。 |

| ３　各学年 | | |
|---|---|---|
| １学年 | ２学年 | ３学年 |
| 高校生としての基本的生活習慣の確立とともに、自己を理解し社会人に向けて日々研修を重ねるとともに、集団生活を通して規律や協力・協調を行い、仲間を尊重し自らを律して生活することのできる態度を養う。 | 中堅学年としての自覚と責任を持たせ、一人一人の自己実現を目指し、個々の能力や資質の伸長を図る。また、人としての在り方やよりよい生き方を目指して道徳的心情や判断力を養う。 | 最上級学年としての自覚を持たせ、自主性・社会性・協調性を育成し、基本的生活習慣の定着を図る。また、自己の在り方について考えを深め、社会の一員として責任ある行動を身につけさせる。 |

| ４　特別活動 | | |
|---|---|---|
| ホームルーム活動 | 生徒会活動 | 学校行事 |
| ホームルーム活動を通て、自己探求と自己実現に社会の一員としての自覚に基づき、人間としての在り方生き方について探求を行う。 | よりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治的能力の育成を重視<br>①生徒会の計画や運営<br>②異年齢集団による交流<br>③生徒の諸活動についての連絡調整<br>④学校行事への協力<br>⑤ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動 | ボランティア活動、芸術鑑賞等のあらゆる学校行事をとおして、よりよい人間関係を築く力と公共の精神を養い、社会性の育成を図る。 |

| ５　家庭・地域との連携 |
|---|
| (1)学級通信や苫商風だよりの発行<br>(2)授業参観、学級懇談会、体験発表会の開催<br>(3)インターンシップ |

| ６　生徒指導等における関連 |
|---|
| ・生活習慣を定着させ、自発的な思考、適切な判断力を身につけさせる<br>・生徒理解を図り、個別指導を充実させる<br>・生命尊重の意識を高め、自他を思いやる態度を育成する<br>・家庭・地域の協力により公徳心を育成する |

# 9　令和６年度 特別活動全体計画

**関係法規等**
- ○日本国憲法
- ○教育基本法
- ○学校教育法
- ○学習指導要領

**学校教育目標**
- (1)あらゆることに興味・関心を持ち、主体的に学ぶ意欲・態度を育てる。
- (2)自己研鑽を惜しまず、物事を客観的に捉え、心身ともに調和のとれた人を育てる。
- (3)地域の教育力を生かし、幅広い思考力・判断力・表現力を育てる。

**北海道教育推進計画**
- ○豊かな感性を育む教育と道徳教育の充実
- ○体験的な活動の充実
- ○生徒指導・教育相談の充実
- ○人権教育・男女平等教育の充実

**特別活動の重点**
- ○望ましい集団活動をとおして、社会の一員としてよりよい人間関係の構築とともに自主的、実践的な態度を育てる。
- ○人間として調和のとれた在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

**生徒の実態**
- ○純朴で素直な生徒が多く、思いやりを持って行動できる。
- ○実社会での活動経験が少ないため、特に行事等での経験を通して達成感、成就感を味わわせることによって自己肯定感を高めていく生徒が多い。

**ホームルーム活動**

望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。
- ○ホームルームや学校の生活づくり
- ○適応と成長及び健康安全
- ○学業と進路

**生徒会活動**

望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。
- ○生徒会の計画や運営
- ○異年齢集団についての交流
- ○生徒の諸活動についての連絡調整
- ○学校行事への協力
- ○ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動などの社会参加

**学校行事**

望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
- ○儀式的行事
- ○文化的行事
- ○健康安全・体育的行事
- ○旅行・集団宿泊的行事
- ○勤労生産・奉仕的行事

**【観点】**
- ○集団や社会の一員として活動するために必要な知識・技能
- ○協働してよりよい集団生活を築くための思考・判断・表現
- ○主体的に多様な他者と関係を深めようとする態度